

## 母音変化動詞の活用について(2)

Sobre la conjugación de los verbos con cambio vocálico en la raíz II

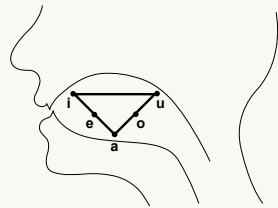
前号に引き続いて母音変化動詞の活用を扱います。2つ目のタイプの動詞は、母音の狭め「閉音化」(cierre)によるものです。このグループには-ir型動詞しかありません。母音変化が起こったメカニズム自体が前号で見た二重母音化のものと異なります。

代表的なのが過去形における母音変化です。それぞれのパターンを表にしてみましょう。

【I型:e → i】 sentir		【II型:o → u】 dormir	
直説法点過去	接続法過去	直説法点過去	接続法過去
sentí	sintiera	dormí	durmiera
sentiste	sintieras	dormiste	durmieras
sintió	sintiera	durmió	durmiera
sentimos	sintiéramos	dormimos	durmiéramos
sentisteis	sintierais	dormisteis	durmierais
sintieron	sintieran	durmieron	durmieran

【III型:e → i】 pedir	
直説法点過去	接続法過去
pedí	pidiera
pediste	pidieras
pidió	pidiera
pedimos	pidiéramos
pedisteis	pidierais
pidieron	pidieran

母音三角 (triángulo vocálico)



まず直説法点過去を見てください。3人称の単数と複数で「母音の狭め」が起こります。つまり、「e→i」、「o→u」という変化です。eよりiの方が口を閉じて発音する音です。同様にoと言いながら口を閉じていくとuになります。上の図を見てください。「母音三角」(triángulo vocálico)と言います。スペイン語の5つの母音の調音点を示しています。

では、なぜこのような現象が起こるのでしょうか。変化する母音の直後の音節を見てください。-ioか-ieになっています。ここに秘密があります。これらの音節は二重母音では通常の母音ではなく「半子音」(semiconsonante)なのです。「イオ」と「ヨ」の中間の「イオ」という感じです。この半子音のことを言語学で「ヨッド(yod)」と呼びます。そしてこのヨッドは前の母音に影響を与えるのです。具体的に言うところを狭めるように働きます。つまり、[e...iό]→[i...iό]、または[o...iό]→[u...iό]となります。このヨッドがあるのが6つの活用中2つなのでこの2つのみで母音の変化が起こっていたというわけです。例文を見ましょう。

Las redes sociales **hirvieron** de comentarios sobre el nuevo tratamiento para adelgazar.

その新しいダイエット方法はネット社会で話題沸騰した。

次に接続法過去ですが、3人称複数形を元にすべてが作られます。例えば、sentirであればsentieronの-ronを取って(-ra, -ras, -ra, ramos, -rais, -ran)を付けます。ですから接続法過去ではすべての形で閉音化が起こります。上の表では-ra形のみ示しましたが、-se形でも全く事情は同じです。

さて、このヨッドによる母音の狭めは現在分詞においても起こります。sentir → sintiendo / dormir → durmiendo / pedir → pidiendo

En estas elecciones generales estamos eligiendo a nuestros representantes, quienes tendrán una importancia decisiva para la siguiente generación.

今回の総選挙では我々は次世代に決定的な重要性を持つ代表を選んでいるのだ。

さて、実は-ir型の母音動詞は現在形でもまたこの閉音化が起こるのです。以下の表を見てください。

【I型:e → ie, i】 sentir	
直説法現在	接続法現在
siento	sienta
sientes	sientas
siente	sienta
sentimos	sintamos
sentís	sintáis
sienten	sientan

【II型:o → ue, u】 dormir	
直説法現在	接続法現在
duermo	duerma
duermes	duermas
duerme	duerma
dormimos	durmamos
dormís	durmáis
duermen	duerman

【III型:e → i】 pedir	
直説法現在	接続法現在
pido	pidas
pides	pidas
piden	pidan
pedimos	pidamos
pedís	pidáis
piden	pidan

まず、最初の2つの表(sentirとdormir)について説明します。強く発音するeやoにおいて二重母音化が起こるのは-ar型動詞、-er型動詞と同じです。問題は接続法の1人称と2人称複数です。sintamosとsintáisに注目してください。ここでは過去形で起こった母音の閉音化(cierre)が見られます。つまり、母音eは、「e~ie~i」と3通りに変化します。同様にdormirにおいてはoは、「o~ue~u」となります。

さて、最後の表のpedirですが、pedimosとpedisを除く全ての形で閉音化が起こっています。歴史的変化は複雑になり過ぎるので今回は立ち入りませんが、大雑把に言うところ語源的に半子音が後にあったために前の母音に変化が起こり、後にこの現象を起こしたヨッドが消滅します。いずれにせよこのパターンの動詞は意外に多いのでしっかり修得しましょう。

上の表には含めていませんが、túに対する命令形でも母音変化が起こることを確認しておいてください。

sentir → tú **siente** / dormir → tú **duerme** / pedir → tú  **pide**

En este restaurante se ofrece buffet libre, así que **sírvete** todo lo que quieras.

このレストランはバイキングだから何でも好きなものを取ってね。

母音変化動詞は学習者にとって1つの難所と言えるでしょう。しかし、重要な動詞ほど不規則である傾向にあります。しっかり修得すると表現の幅と理解力が格段にアップすること間違いなしです。¡Hasta la vista!



仲井 邦佳 なかいくによし / Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。京都イスパニア学研究会会長。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語一文法と演習』(共著、同友社)などがある。